

【令和3年度 指定就労継続支援A型事業所 経営改善計画書】

事業所	事業所名	らびんぐるっく		管理者指名	眞田 崇		
	所在地	〒 737-0154	広島県呉市仁方棧橋通1493-197				
	連絡先	TEL番号	0823-79-6910		FAX番号	0823-90-8333	
	指定年月日	2011年 4月 1日			決算月	5 月	
	職員数	18 名			定員	20 名	
	利用者数	36 名 (うち身体 4 名 知的 22 名 精神 10 名 その他 名)					
事業所の設置 主体	法人種別	社会福祉法人 ・ <u>民間企業</u> ・ NPO法人 ・ その他					
	設立年月日	2011年 3月 25日					
	法人名	株式会社ライフハック		代表者指名	光田 将章		
	所在地	〒 737-0154	広島県呉市仁方棧橋通1493-197				
	取引金融機関	呉信用金庫 広島市信用組合 日本政策金融公庫					
関係法人 (親会社、設 立母体等)	法人名	有限会社 光田産業		代表者指名	光田 倬子		
	所在地	〒 737-0154	広島県呉市仁方棧橋通1493-197				
	関係の度合	代表者が親族					

改善計画期間	令和3年6月1日 ~ 令和4年5月31日
--------	----------------------

1 現在、指定基準第192条第2項を満たすことができていない理由と具体的改善策
(詳細かつ具体的に記載すること)

<p>(未達成理由) コロナの影響により、製造部門は前年度との比較で横ばい、前々年度との比較で、約2割減となりました。(現在もコロナの影響により回復の兆しが見えない状況です。)</p> <p>農業部門は、生産方法の変更が功を奏し、生産量は大幅増となりましたが、コロナの影響で、飲食店等向けの野菜がスーパー向けにまわって来て価格破壊が起こり、弊社のトマトも値下げせざるを得ず、通常の半値近くでの販売となりました。その結果、売上は横ばいとなっております。</p> <p>新規事業のねぎ栽培は、1月に生産を開始しましたが、諸問題が発生し、生産方法の変更をすることになりました。再開は、今期10月以降になる見込みとなり、予定していた売り上げが未達となりました。</p>	<p>(具体的改善策) 製造部門は、受注量が元に戻るが一番ですが、できることとして、単価UPを交渉して行きます。</p> <p>農業部門は、トマト栽培では、単価を元に戻すには現状ではまだ難しいと考えますが、安売りした分、新規の購入者が増え、認知度が増しているという実感があります。少しずつ値上げをはかって売上UPを目指します。売上UPに繋がる販路開拓も行っていきます。</p> <p>ねぎ栽培については、カット葱用に生産をするように変更しているところですが、こればかりに固執せず、他の野菜で儲かるものを模索することも同時にやって行きます。</p>
--	---

2 現在の事業内容及び計画期間を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	計画期間を通じて実施する事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品組立 (マツダ、プリア工業) ・トマト栽培 (ビニールハウス) ・ネギ栽培 (閉鎖型植物工場 2021年10月に延期) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品組立 (マツダ、プリア工業) ・トマト栽培 (ビニールハウス) ・ネギ栽培 (閉鎖型植物工場 2021年10月に再稼働)

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性 (どのような資格、経験等を持った者が担当するか等) について詳細に記載すること

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び計画期間を通じて達成する事業収入目標額（1年間の額を記載）

現在の収入額	計画期間を通じて達成すべき目標収入額
24,586,216円	29,483,418円
(主な費目) 自動車部品組立の工賃 トマト	(積算根拠) 6月、7月は実績で、8月は、コロナの影響を受けて、製造部門が減産体制。9月以降持ち直すとマツダ側が発表しているため、そうなるものとして計算。 製造部門は、2019年度の売上に単価UPにより各月40万円の上積みを見込む。 トマト売上は前年度を参考にし、ネギ栽培は、初年度で課題も残っていることあり、月の売上30万円を見込む。

(注) 目標収入額は、「平均利用者数×平均労働時間×最低賃金額×平均利用日数×12か月」以上の額でなければならない。

4 現在の生産活動に伴う経費及び計画期間を通じて達成する必要経費の見込額（1年間の経費を記載）

現在の経費	計画期間を通じて見込まれる経費
6,354,861円	3,062,384円
(主な費目) 材料費 3,861,069円 福利厚生費 389,704円 消耗品費 1,717,537円 雑費 386,551円 ※特に、ねぎ生産で必要な経費がかさみ、前年の約1.7倍となった。	(積算根拠) トマト栽培のみの経費を見込む 3,062,384円（6月、7月は実績値） ネギ生産に関連する経費の多くは支払済なので、ここでは計上しません。

5 生産活動に係る事業の収入－生産活動に伴う必要経費

現在の「収入－経費」	計画期間後の「収入－経費」
18,231,355円	26,421,034円

6 現在の利用者の総賃金額及び計画期間後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	計画期間後の支払い総賃金額
35,513,522円	34,444,159円
(積算根拠) 令和2年度実績 雇用調整助成金と雇用契約の勤務時間の条件との関係で、給与支払いが現実より多くなっているケースがあります。（特に、製造部門で、コロナ前と同等の受注状態に戻った場合は、これよりも低い賃金になります。）	(積算根拠) ・平均利用者数36人×平均労働時間4.8時間×871円×平均利用日数17.8日×4ヶ月=10,716,226円 ・平均利用者数36人×平均労働時間4.8時間×898円×平均利用日数17.8日×8ヶ月=22,096,834円 ・福利厚生費 389,704円 ・有給休暇 36人×4.8時間×898円×8日=1,241,3952円

事業所代表者署名欄

光田 将章

※「現在」はいずれも、指定基準192条第2項を満たさないと判断された前年度1年間のものを記載すること。

※その他、社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、地方公共団体が必要と認める書類を添付させること。

